

大庄元気むら ボランティア

兵庫県立尼崎西高等学校活動報告

主な活動内容

- 5月5日 手作りバザーマルシェ
- 5月19日 ことはじめ会議
- 6月27日 コロナ退治体操
- 8月1日 元気むらカフェ
- 8月10日・11日・23日 老人ホームメロディハウス介護体験
- 10月2日・9日 老人ホームメロディハウス介護体験
- 10月31日 ハロウィンイベント
- 11月21日 武庫川河川敷清掃
- 12月17日 地域に学ぶ
- 12月19日 大庄元気むら文化祭
- 1月9日 新春お楽しみフェア
- 3月8日 地域に住む外国人に学ぶ

参加生徒感想

【尼崎西高校文化祭作品展示】

- ・糸かけの世界がとてもきれいだった。ローリングストックは災害時に役に立ってすごいと思った。
- ・どの絵も色遣いがきれいですごくよかった。特に慈愛という作品がとても美しく感動した。捨てるのがもったいないのでローリングストックはいいと思いました。
- ・どの作品も素晴らしかったです。特に糸かけの世界の作品はよくできていてすごいと思いました。フルーツとグラスの絵もきれいだと思いました。災害が起きる前に、物が倒れてきたり、土砂崩れなどの安全対策をしておくべきだと思いました。

【尼西生 地域に学ぶ】

- ・今日は高齢者の気持ちや海外のことを知ったり、障がいをもった方の体験ができ、とても良かったです。今までよりもっとたくさんを知れました。当たり前の日常なんてないということを知り、どんな人にも優しく接していきたいと思います。
- ・地震の対策などもっと自分で考えてみようと思いました。モルックではとても楽しかったです。どんな方とも世代の方ともできるスポーツだと思いました。障がいをもっている方に対する考え方など改めてわかりました。ボランティア活動や服を寄付するなど自分のできることで地域に貢献しようと思いました。

- いろんな話をきいたり、体験したり、とてもいい時間になったなと思いました。普段の日常を見直したり、普段できないようなことをしたり、自分を見つめ直す時間になったなと思います。将来、介護士になり、障害を持っている人がいるようなところで働きたいなと思っているので、本当にいい経験になりました。ありがとうございました。
- 今日のビジョントレーニングでは、普段の生活では養うことのできない動体視力をきたえることができ、防災の授業では今後の生活にはかかせない、身の危険を回避する方法を学ぶことができ、家族にも教えたいと思います。モルック体験では、日本では、まだ普及していないスポーツで体験してみると、頭と体を動かさせて楽しかったので、日本でも普及するのを楽しみにしています。

【元気むら文化祭】

- 地域の方々とは日も前から打ち合わせや準備をして成功することができて良かったです。ハロウィーンの時より多くの方々が生徒が参加したので尼西と地域のつながりがより強くなったと思います。これから先も元気むらでの活動は続けていけたらいいなと思いました。
- 老若男女が同じところに集まって一つのイベントを創り上げるという貴重な体験ができてとても良かったです。何のトラブルもなく無事に終わられたことで運営側の使命は果たせたと思っています。このような形で地域の活性化をはかることはとても大切だと思うのでこれからもしていきたいです。
- 今回の元気むら参加は前回よりたくさんの方との交流があったのでより楽しく感じました。入り口での消毒、検温をお願いしたときたくさんの方が笑顔で受け入れてくださってとても嬉しかったです。予定の紙をわたすときにもたくさんの方が笑顔で「ありがとう」と言ってくださりとてもいい1日を過ごせたと思います。各クラブもいつもより少しせまい場所での演技だったと思うけど迫力がとてもすごく良いものを見られたと思います。参加してよかったです。
- 元気むらの文化祭に打ち合わせから参加できて良かったです。打ち合わせから参加する機会なんてめったにないし、本番当日もすごく盛り上がっていて頑張ってたよかったです。
- 準備のときから本番がどうなるかと不安でしたが成功で終わることができて良かったと思います。地域の方と交流する機会が少ない中、こうして交流できたことに感謝し、また次の機会があればまたしたいと思いました。

活動の成果

昨年度から継続して行っているということもあり、尼崎西高校への関心がより高まっていると感じました。今後もこの活動を続けていき、より地域に開かれた学校となることを期待されています。

今年度はコロナの影響もあった中ではありますが、延べ52名の生徒と7つの部活動が参加しました。生徒の意識も変わってきており、昨年度よりも自ら進んで参加した生徒の割合が増加しました。参加後の感想も、「参加してよかった」、「今後も参加したい」といったものが多数をしめました。

大庄元気むらの方より

尼崎西高校の生徒が来てくれると大庄元気むらも活気がでる。交流できること自体がともうれしく思っている。これからももっと色々なことをしていきたいと考えるようになった。小中高の交流の場としても考えていけたらと思う。尼崎西高校のもっと多くの先生に協力をしてもらえるようになったらうれしい。もっと尼崎西高校の生徒が使える場に今後はしていきたい。

指導教員より

大庄元気むらでのボランティアに参加して、最初は消極的で言われた作業だけを行っていた生徒が文化祭の頃になると自分で考えて行動するようになり、様々なことに積極的に参加するようになりました。また、様々な年齢の方との交流により自分の将来について考える機会にもなりました。様々なボランティアを通して地域への愛着も深めることができたと感じました。

来年度に向けて

本校生徒会と大庄元気むらの人との今年度の反省会の中で出た課題は、もっと尼崎西高校の生徒が大庄元気むらに気軽に立ち寄ることができるようにするにはどうしたらいいか、ボランティアに参加する生徒を増やすにはどうしたらいいかでした。案内の仕方や、内容を考える等様々な意見が出ました。来年度に向けて改善していき、今後もこの活動を続けていきます。

活動の写真

